

人権だより

No.309(2024.1)

ごみ山で暮らす子どもたちが教えてくれたもの

生徒部長 毛利 元英

皆さんは、この話を聞いてどう思うでしょうか？あるカメラマンが海外へ取材に行った際の出来事です。そこは、広大なゴミ捨て場で、小さな子どもたちがごみをあさっていました。その子どもたちは、そのごみの山で生まれ育ち生活をしています。空き缶や鉄くずを売って生活が成り立っています。毎日の食事もおぼつかず、病気になっても病院に行けずに亡くなる子どもも多くいます。ある日、カメラマンは、サンドイッチを買い込んで、子どもたちに食べさせてあげようとおみ山へ向かいました。大勢の子どもたちにサンドイッチを配り、一緒に食べようとした。子どもたちは、目の前のサンドイッチに目を輝かせ喜んでいましたが、そのまま蓋を閉じ、見つめたままでいました。誰一人食べようとしませんでした。なんでだろうと思っていたところ、ある女の子が、「このサンドイッチ、お父さんとお母さんと食べていい？」カメラマンがうなずくと子どもたちは、そのサンドイッチを大事そうに抱えてそれぞれの家に帰って行きました。1日1回食事ができるかどうかかわからない状況、おなか为空いていないはずがありません。なのに、家族と一緒に食べようとみんな走って帰って行きました。



よく見ると、その子どもたちは、裸足で、爪がめくれているいたり、ガラスで足を切り、血がついていたりしています。昼間は、トラックがごみを捨てに来るためにごみ山周辺で遊び、夜になると暗闇の中、足元も見えない状況の中でごみ山から家族のためにごみをあさります。カメラマンは、家族を大切にすることに打たれ、楽しそうに家族で一つのサンドイッチを分けながら食べている姿に自然に涙が出てきて、心の中で一人「ありがとう、ありがとう」とつぶやいていました。こんな小さな子どもたちでも一生懸命に生きている。自分の生き方に恥ずかしさを感じたそうです。

この話を聞き、最も弱く、最も貧しい子どもたちが、世界で最も家族を愛し、他人を大事にして生きていて、感謝こそが生きる力であり、また、誰かのために生きることが一生懸命に生きることと感じました。「感謝して誰かのために生き

「何気ない日々の中に、あるような気がします。「おはよう」「いただきます」「行ってきます」「お願いします」「ありがとうございました」「ただいま」「ご馳走様」「おやすみなさい」何気ない一言が実は、感謝して生きることにつながっているのではないのでしょうか？新しい年がスタートしました。2024年「感謝の言葉」が飛び交う生活をお互いにしませんか？

【保護者の声】 文章を読んだPTA 人権委員の方の感想です。

今ある当たり前の日々に、本当に感謝しかありません。いつ何が起こるか分かりません。人生にはいろいろなことが起こりますし、望んだ環境にない人もいます。おもしろいことですが、間違いなく今日もとにかく生きています。いろいろな人との関わりの中、助け合いながら、今日一日に感謝、皆さんに感謝しています。その気持ちを言葉や行動に表すことも大切です。明日もありがとうの気持ちを伝える一日を過ごします。(3年生保護者)

子どもが小さい頃は、毎日何度も挨拶を交わしていましたが、思春期を迎えたことに加え、学校や部活で忙しくなると言葉を交わす回数も少なくなっています。慌ただしい普段の生活の中では、ついつい感謝することを忘れがちになっていますが、毎日の子どもの何気ない「おはよう」「行ってらっしゃい」などの挨拶を大切に、感謝の気持ちを伝えあえる新年にしていきたいです。(3年生保護者)

【人権委員の声】

当たり前のように、朝・昼・夜のご飯を食べて、学校に行って、帰る家があるありがたさを改めて感じました。思春期の今、親ともうまくいかなくて感謝の気持ちを忘れがちですが、常に感謝の心を忘れずに、周りの人や物を大切にしていきたいです。(4年生 人権委員)

いつも何気なく言っている言葉はとても大切な言葉なのだと思います。その一言があるかないかで相手の気持ちが変わってくると思うので、ささいなことでも感謝したいと思います。世界では今日も満足にご飯を食べられない子どもがたくさんいます。それでも家族のために一生懸命働いている様子を見ると心が苦しくなります。家族のためだとはいつても、なかなかできることではありません。一日も早く世界中の人達が安心して明日を迎えられることを祈ります。ささいなことでも感謝することを忘れずに生きていきたいです。(5年生 人権委員)

人間は一人では生きていくことができないため、みんなで生きようとする子どもたちに心を打たれました。自分だけでなく、一度考えてみんなが幸せになるための行動をとって行くことで、よりよい社会になっていくと思います。一人の意識が変わるだけでも変わっていくと思うので、みんなが幸せに生き、生活するために周りを見て行動していきたいです。(6年生 人権委員)

